

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に...

商品正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後...

取扱説明書をお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

説明図中の部品には、< >で同相先を表示しています。

チェックシート

組立・施工時、本文中に表示している「チェックマーク」の確認をしてください。

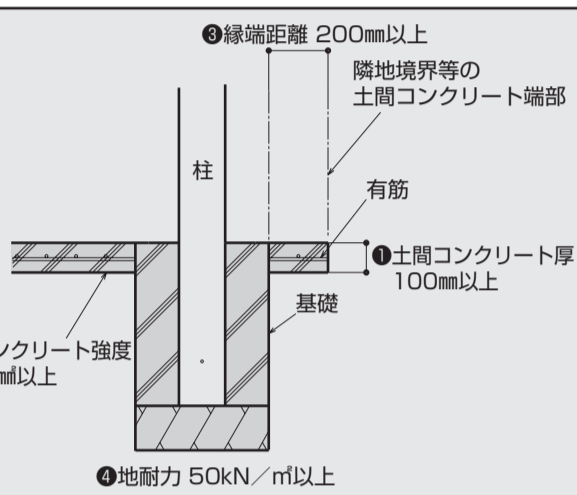
項目	チェック欄
① 基礎寸法	
② シーリング	
③ 柱の間隔・垂直・屋根の直角・後枠の水勾配	
④ 側枠・垂木取付ねじの締付け	
⑤ 柱の水抜き穴	
⑥ 屋根材のみ込み	
⑦ 屋根材押えの押しあて	
⑧ 屋根材押え取付ねじの締付け	

寸法図 (単位: mm)

土間コンクリート考慮基礎条件

本基礎の場合は、下記各条件を満たしていることを確認してください。
条件を満たしていない場合は、「独立基礎」の大きさにして施工してください。

- 基礎条件**
- ① 土間コンクリート厚 : 100mm以上、有筋
 - ② 土間コンクリート強度 : 18N/㎡以上
 - ③ 縁端距離 : 200mm以上
 - ④ 地耐力 : 50KN/㎡以上

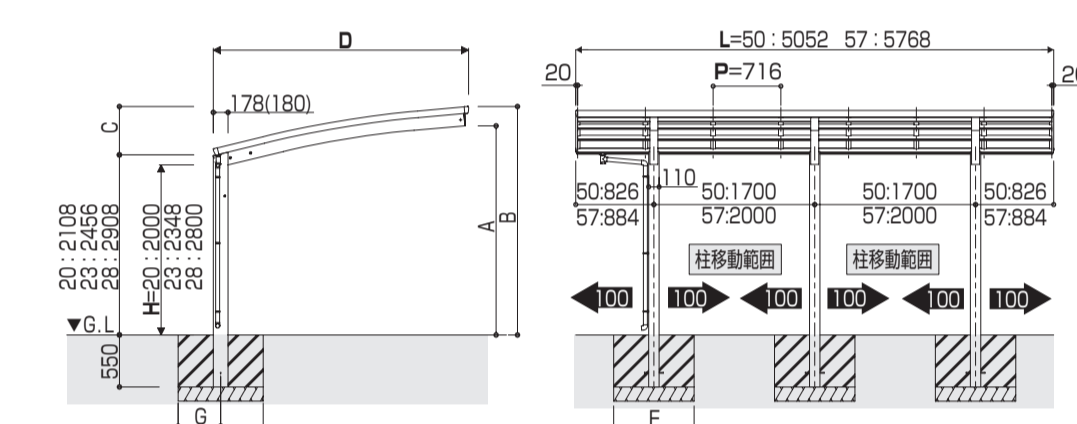


お願い

屋根の長さ方向に水勾配 2-4 mmをつけてください。
雨樋側の柱高さを6~14mm低くすると、2-4 mmの水勾配になります。
逆勾配は雨漏り・雨溜まりの原因になります。

■基本セット

() 寸法は、5030・5725・5727の場合



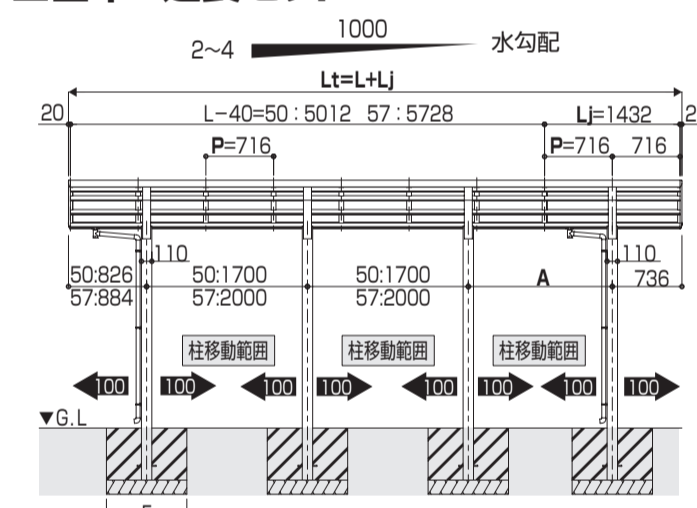
■土間コンクリート考慮基礎の場合

※採用条件については、土間コンクリート考慮基礎条件を参照

カーポートサイズ	全サイズ		
基礎寸法	E	F	G
	550	550	275

※側面パネル付(H=2800を除く)の場合も同寸法です。
側面パネル付の場合は、必ず補助柱を取付けてください。

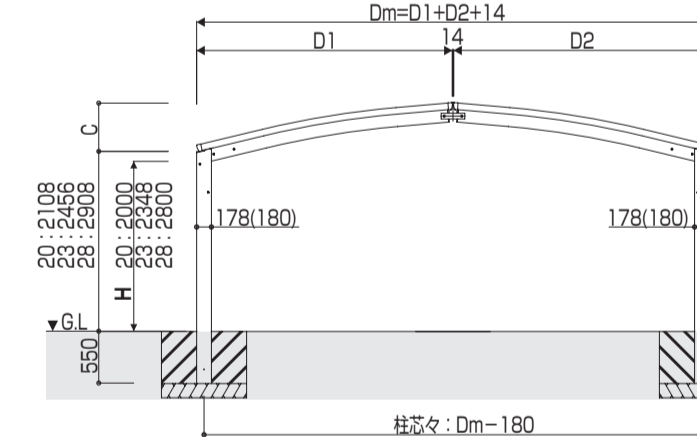
■基本+延長セット



呼称	Lt	A
L50+L14	6484	1522
L57+L14	7200	1580

■合掌

() 寸法は、5030・5725・5727の場合



■幅(D1・D2)違い合掌する場合

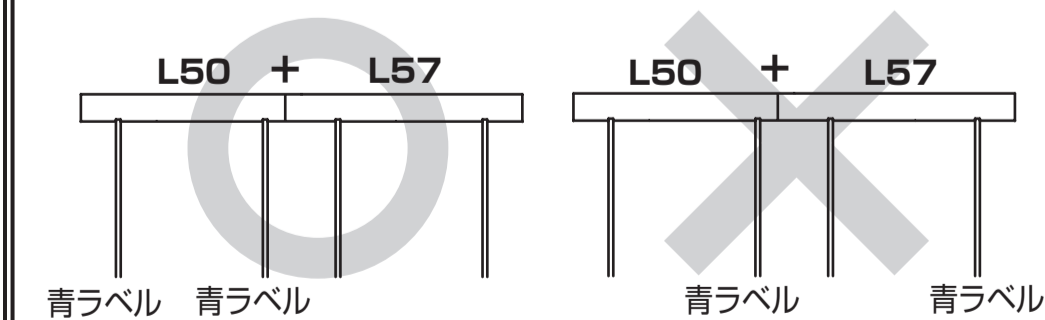
呼称	方法①	方法②
D24+D25	D25側の柱を25mm深く埋込む	D25側の柱下端を25mm切断
D25+D27	D27側の柱を24mm深く埋込む	D27側の柱下端を24mm切断
D25+D30	D30側の柱を73mm深く埋込む	D30側の柱下端を73mm切断
D27+D30	D30側の柱を49mm深く埋込む	D30側の柱下端を49mm切断

組立・施工要領

長さ違いの連棟時の注意

カーポートサイズにより、柱の強度が異なります。
(5024, 5025, 5027, 5724, 延長全サイズのみ青ラベルあり)
カーポートサイズに対応した柱を確認して施工してください。
間違った組合せで施工すると、破損の原因となります。
施工後、ラベルをはがしてください。

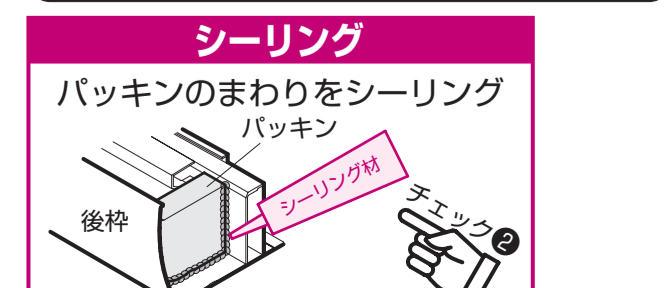
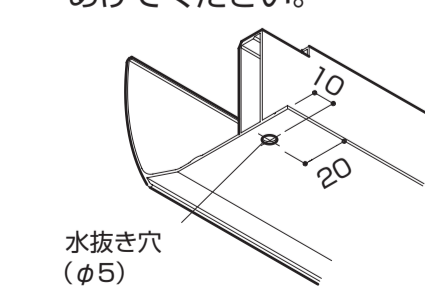
例: ため連棟 D27 L50+L57 の場合



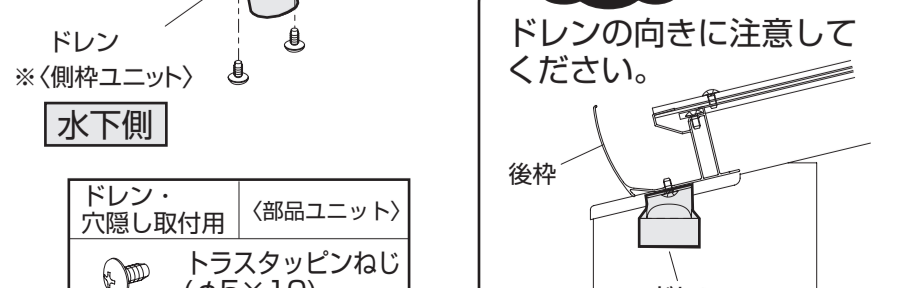
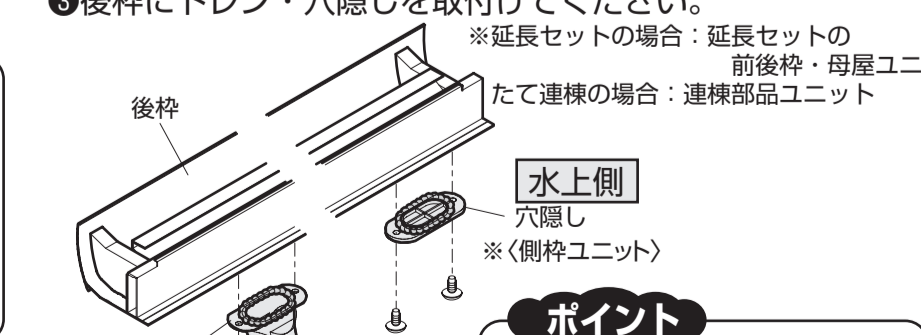
5. 後枠の取付

※長さ切詰めする場合は、長さ切詰めする場合は参照

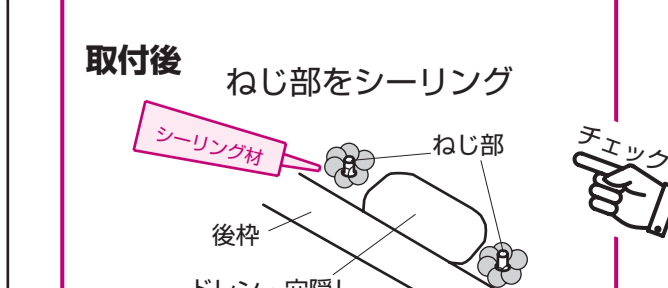
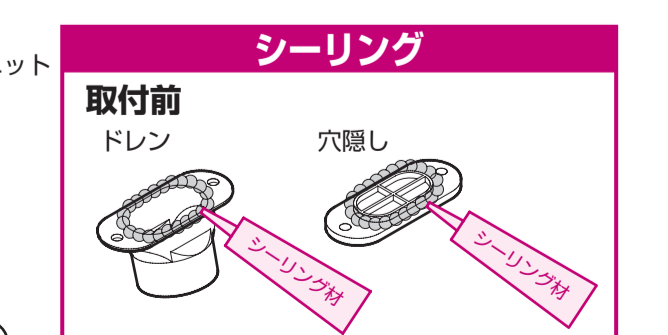
① 後枠の水下側に、水抜き穴をあけてください。



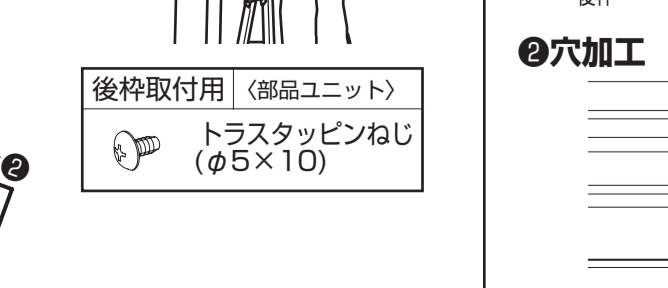
② 後枠にパッキンを取付けてください。



③ 後枠にドレン・穴隠しを取付けてください。

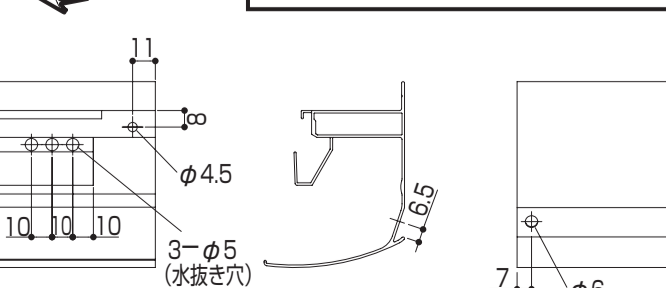
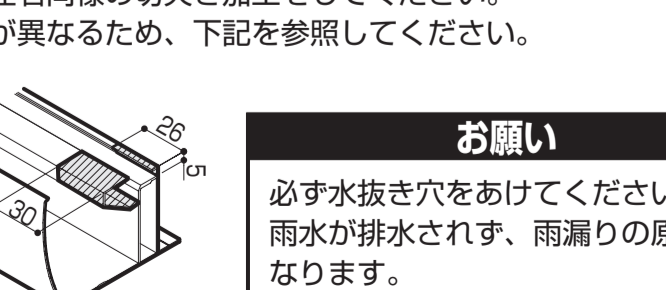


④ 後枠を取付けてください。



長さ切詰めする場合

切詰め側に左右同様の切欠き加工をしてください。
後枠は加工が異なるため、下記を参照してください。



切詰め側には必ず水抜き穴をあけてください。
雨水が排水されず、雨溜まりの原因になります。

必ず水抜き穴をあけてください。
雨水が排水されず、雨溜まりの原因になります。

必ず水抜き穴をあけてください。
雨水が排水されず、雨溜まりの原因になります。

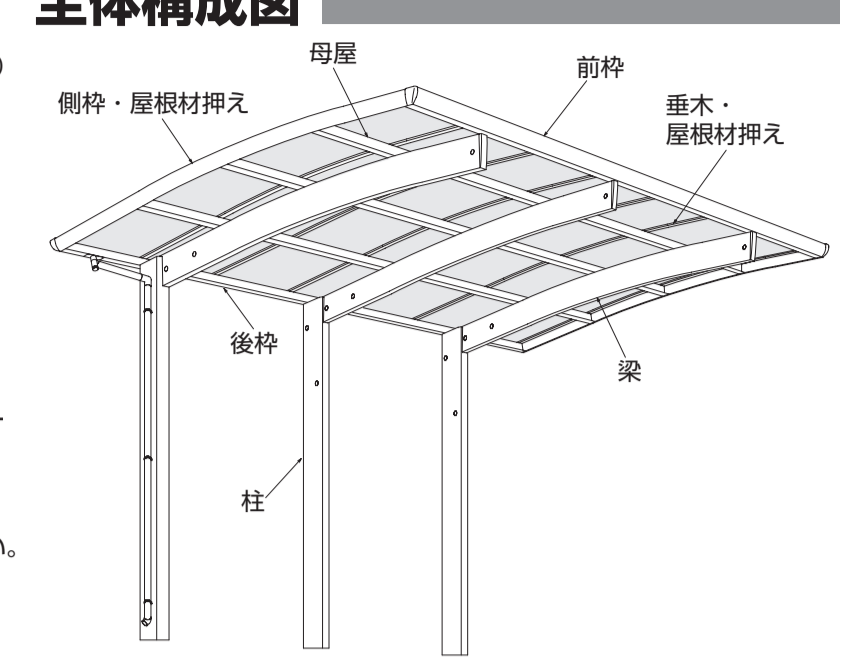
必ず水抜き穴をあけてください。
雨水が排水されず、雨溜まりの原因になります。

必ず水抜き穴をあけてください。
雨水が排水されず、雨溜まりの原因になります。

お願い

- 屋根からの降雪が予想される場合は、カーポートに直接降雪しないようご注意ください。(図参照)
- カーポートの屋根が強風でおおられるのを防ぐために、前枠側を建物にむけて施工してください。(図参照)
- みだりに改造や変更はしないでください。
- 基礎コンクリートには塩素系の混和剤(急結剤等)や海砂を使用しないでください。
柱の腐食の原因となります。
- 屋根面に銀色フィルムを貼らないでください。
太陽光線の反射により火災のおそれがあります。
- 凍結防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。
- 組立ては、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因になります。
- カーポートの上に車をとらないでください。カーポートにはしごをかけるしないでください。
- カーポートの腐損だけでなく落下事故の原因になります。
- 部材を切詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をペンチ等でかしめ直してください。

全体構成図



同梱一覧

■柱ユニット HCS-(DS)RA##S-##

姿図	部材	部品
	柱	たて棒 呼び種
	品番	K-34805 K-34805
HCS-(DS)RA20FS-2	2	1 (L=1950) 1 (L=1300)
HCS-(DS)RA23FS-2	2	1 (L=2300) 1 (L=1300)
HCS-(DS)RA20FS-1T	1	1 (L=1950) 1 (L=1300)
HCS-(DS)RA23FS-1T	1	1 (L=2300) 1 (L=1300)
HCS-(DS)RA28FS-1T	1	1 (L=2750) 1 (L=1300)
HCS-(DS)RA28FS-1	1	-

■梁ユニット HCS-(DS)RB##S-#

部材名	梁
品番	-
HCS-(DS)RB##S	2
HCS-(DS)RB##S-1	1

■ジョイント材ユニット CCD-(DS)TGA

姿図	部品
	ジョイント材
品番	5K-16557
個数	1

■側枠ユニット HCS-(DS)RC##

姿図	部材	部品
	側枠	屋根材押え パッキン 前枠キャップ 前枠キャップ 後枠キャップ 後枠キャップ ドレン 穴隠し
	品番	側枠 屋根材押え 3K-21853 2K-38151 2K-38152 2K-39039 2K-39040 2K-31200 K-36937
	備考	(側枠用)
	個数	2 2 2 1 1 1 1 1 1 1

■前後枠・母屋ユニット HCS-(DS)RD5####S

部材名	前枠	後枠	母屋
品番	-	-	-
HCS-(DS)RD5#S	1	1	3
HCS-(DS)RD5130S	1	1	4

■垂木ユニット HCS-(DS)RE####

部材名	垂木	屋根材押え
品番	-	-
備考	(垂木用)	-
HCS-(DS)RE1#	6	6
HCS-(DS)RE#	7	7

■連棟垂木ユニット HCS-(OS)REJ####

部材名	垂木	連棟垂木	屋根材押え
品番	-	-	-
HCS-(OS)REJ#	-	1	1
HCS-(OS)REJ14#	1	1	2

■部品ユニット HCS-(DS)RG##S#

姿図	部材	部品
	柱アンカー	柱カバー
	品番	K-11711 4K-17640 EA-E1 2K-49807 2K-17611 ET-5010 K-40433
	備考	柱・梁取付用 屋根組立用 柱移動用
HCS-(DS)RG51S	3	3 1 21 24 152 10 1
HCS-(DS)RG5130S	3	3 1 28 24 198 12 1

■連棟部品ユニット HCS-(DS)RGJ##

■前後枠・母屋ユニット(延長セット用) HCS-(DS)RD14##S

姿図	部材	部品						
	前枠	後枠	母屋	緩衝材	前枠連結材	後枠連結材	柱アンカー	柱カバー
	品番	-	-	2K-49807	3K-19543	4K-17641	K-11711	4K-17640
HCS-(DS)RGJ	-	-	-	1	1	1	-	-
HCS-(DS)RGJ30	-	-	-	1	1	1	-	-
HCS-(DS)RD14S	1	1	3	7	1	1	1	1
HCS-(DS)RD1430S	1	1	4	8	1	1	1	1

姿図	部材	部品
	後枠連結金具	母屋連結材
	品番	4K-17642 4K-16287 EA-E1 2K-31200 K-36937 2K-17611 ET-5010
HCS-(DS)RGJ	1	3
HCS-(DS)RGJ30	1	4
HCS-(DS)RD14	1	3
HCS-(DS)RD1430S	1	4

■合掌材ユニット HCS-(DS)RM##

部材名	合掌材
品番	-
本数	1

■合掌部品ユニット HCS-(DS)PGMS

姿図	部材	部品
	梁連結材	合掌材ブラケット 合掌材キャップ
	品番	3K-13929 3K-19541 2K-38161 SBH-M08105 FN-M08 N-M08 W-08 ET-5025
	備考	梁連結材取付用 梁連結材取付用 梁連結材取付用 梁連結材取付用
	個数	6 4 2 12 12 12 24 6

■屋根材ユニット (厚さ: 1.8mm)

ユニット記号	長さ	幅	数量
CCS-(DS)RF24-2#			2
CCS-(DS)RF24-3#	2387	706	3
CCS-(DS)RF24-4#			4
CCS-(DS)RF25-2#			2
CCS-(DS)RF25-3#	2539	706	3
CCS-(DS)RF25-4#			4
CCS-(DS)RF27-2#			2
CCS-(DS)RF27-3#	2691	706	3
CCS-(DS)RF27-4#			4
CCS-(DS)RF30-2#			2
CCS-(DS)RF30-3#	2995	706	3
CCS-(DS)RF30-4#			4

末尾の#は屋根材の種類を表します。

組立・施工要領

6.前枠の取付

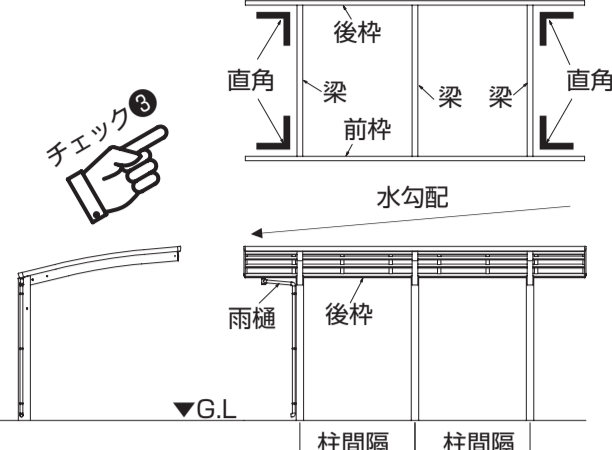


7.寸法確認・調整

- 柱の間隔・垂直
- 梁と後枠・梁と前枠の直角
- 後枠(長さ方向)の水勾配
- ※雨樋取付側が水下側

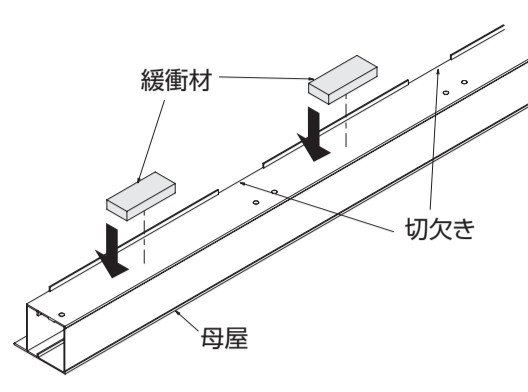
ポイント

寸法がでない場合は、部材を動かして調整してください。



8.母屋の取付

緩衝材を母屋の切欠きと切欠きの中心部分に貼付け、母屋を取付けてください。



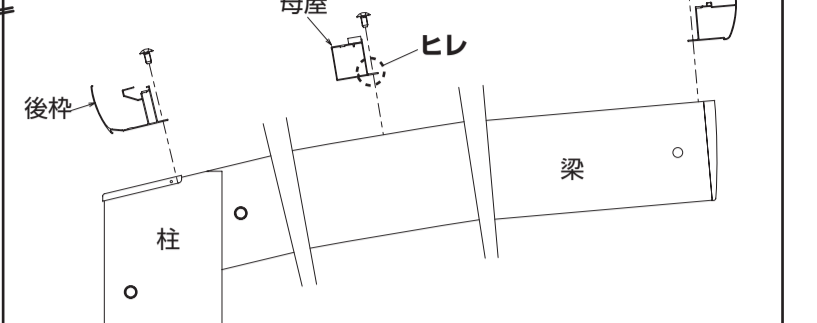
ポイント

緩衝材を母屋のヒレに突き当てて貼付けてください。

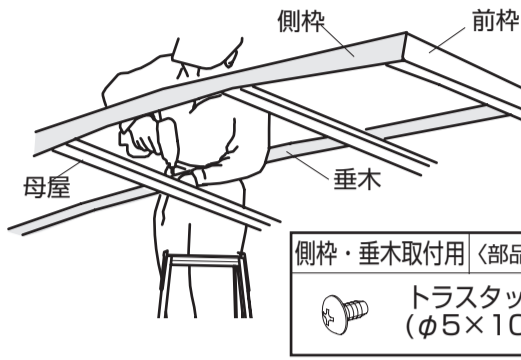


ポイント

母屋のヒレを前枠側に向けてください。



9.側枠・垂木の取付

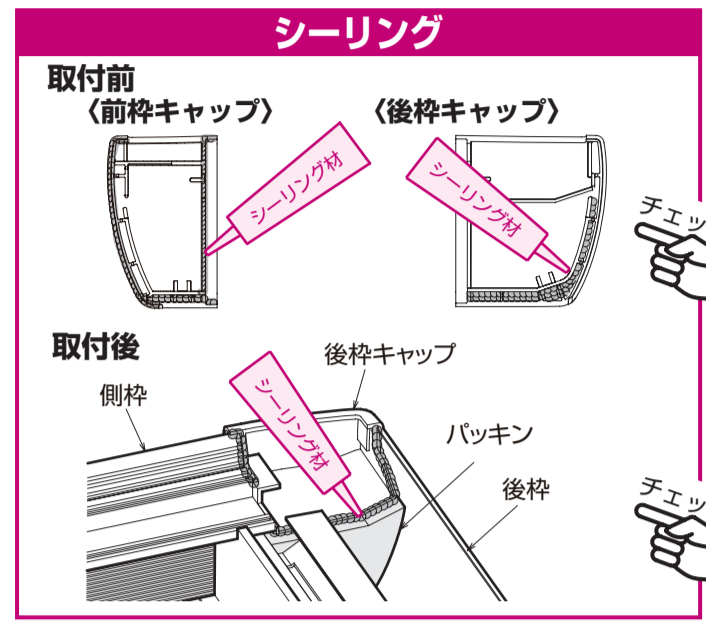
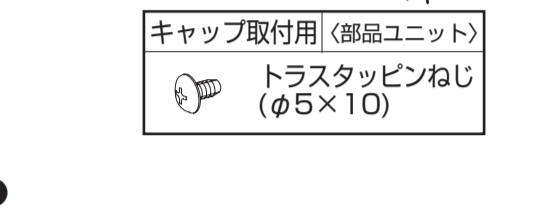
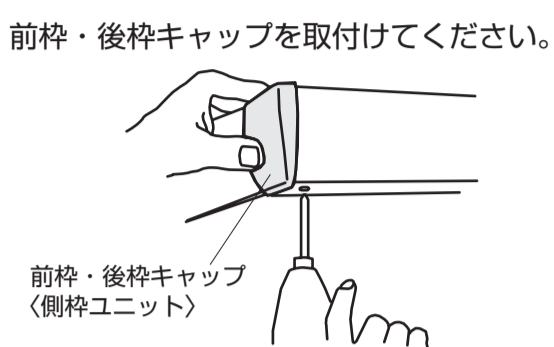


ポイント

前枠側 → 後枠側 → 母屋部の順でねじ止めすると、穴位置が合わせやすくなります。

お願い

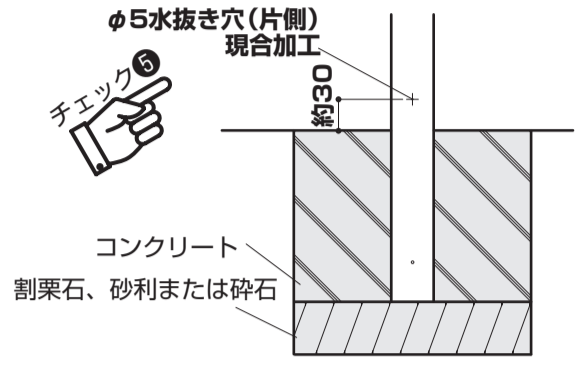
ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。



10.本体の仮固定と柱・梁取付ボルトの本締め

- 再度寸法を確認してください。
- 柱・梁取付ボルトを本締めしてください。

11.基礎コンクリートの打込み



お願い

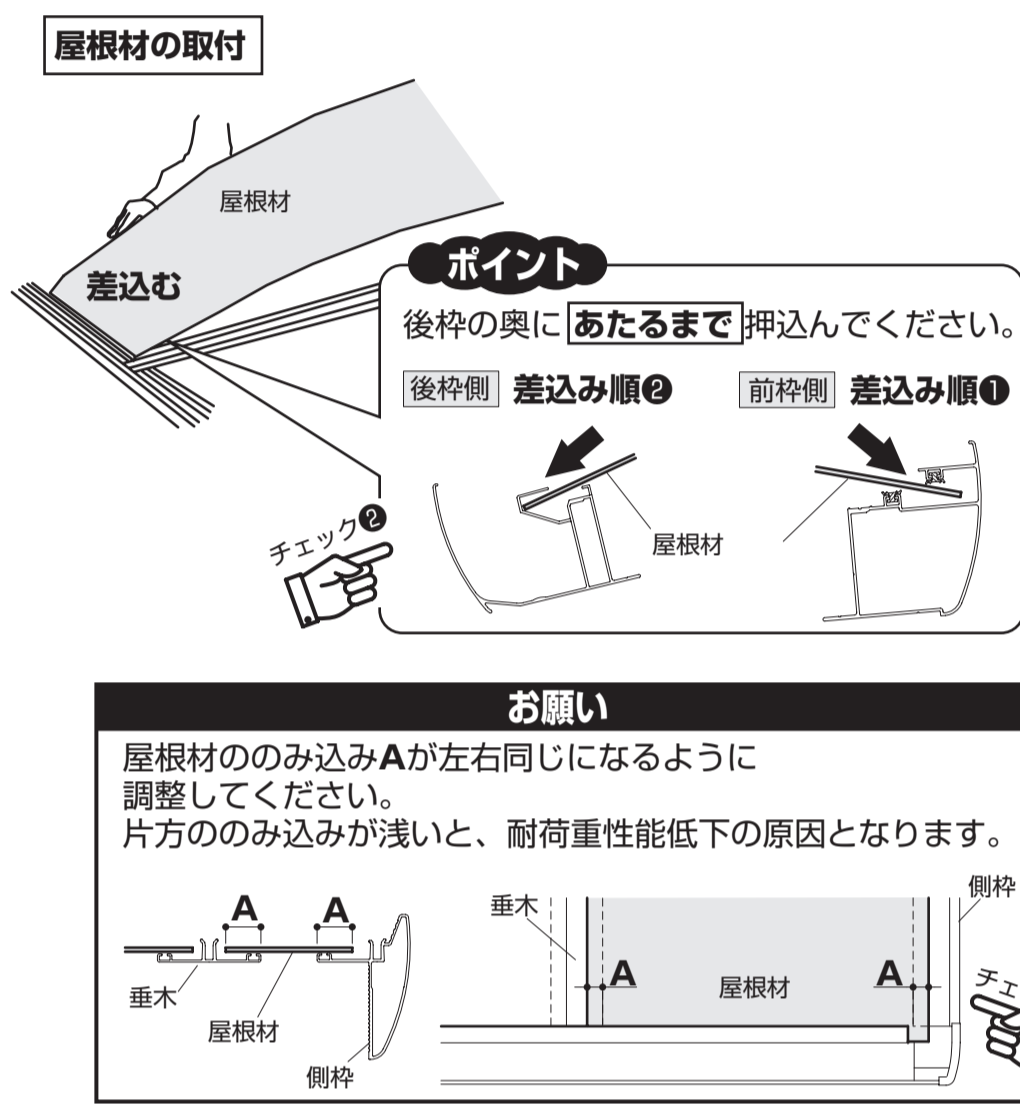
凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、必ず水抜き穴をあけてください。

注意

屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4~7日の養生期間が必要です。

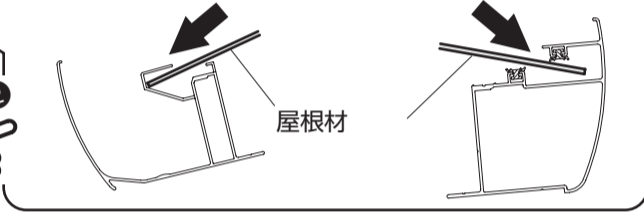
12.屋根材・屋根材押えの取付

取付前に、屋根材の養生フィルムをはがしてください。



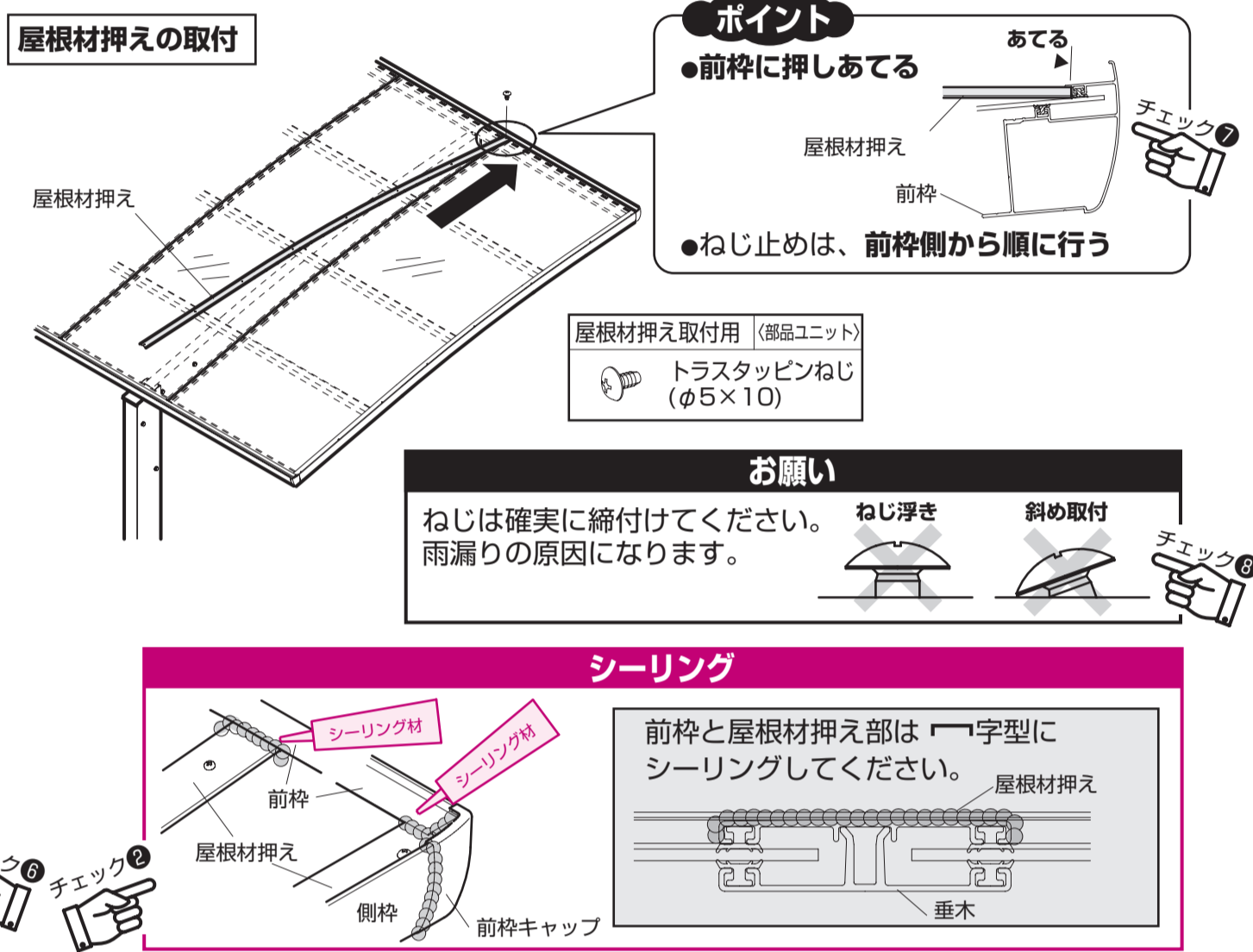
ポイント

後枠の奥に「あたるまで」押込んでください。



お願い

屋根材のみ込みAが左右同じになるように調整してください。片方のみ込みが浅いと、耐荷重性能低下の原因となります。



ポイント

- 前枠に押しあてる
- ねじ止めは、前枠側から順に行う

お願い

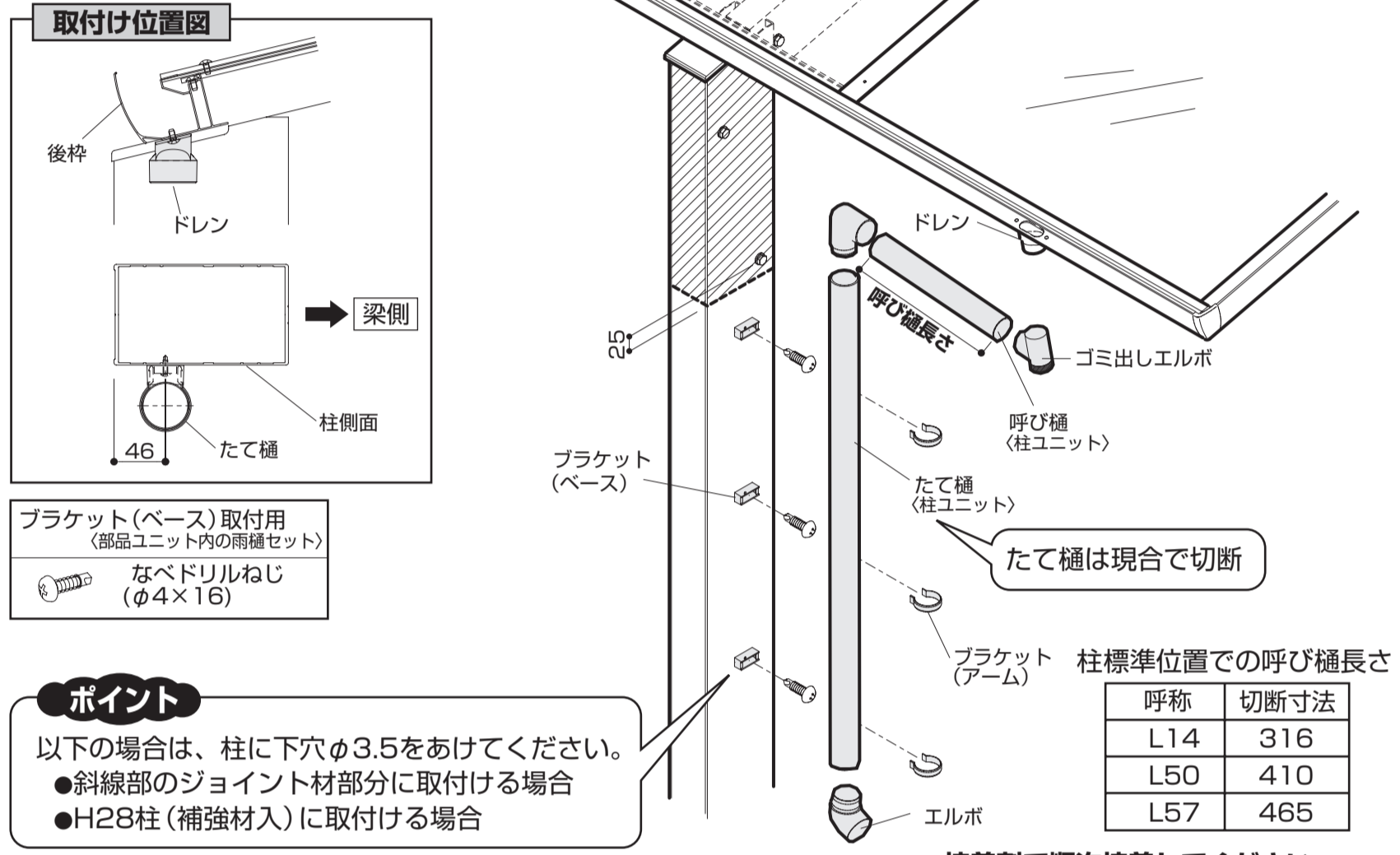
ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。

シーリング

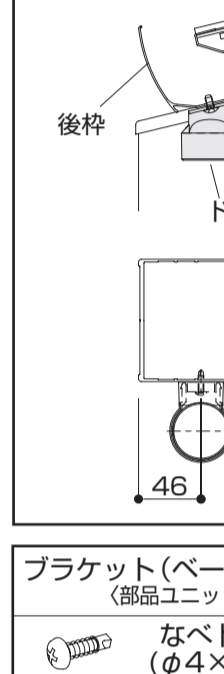
前枠と屋根材押え部は「」字型にシーリングしてください。

13.雨樋の取付

(たて樋・呼び樋以外の部品(雨樋セット)は、部品ユニットに入っています。延長セットの雨樋セットは、延長セットの前後枠・母屋ユニットに入っています。)



取付け位置図



ポイント

- 以下の場合、柱に下穴φ3.5をあけてください。
- 斜線部のジョイント材部分に取付ける場合
- H28柱(補強材)に取付ける場合

呼称	切断寸法
L14	316
L50	410
L57	465

接着剤で順次接着してください。

たて連棟する場合

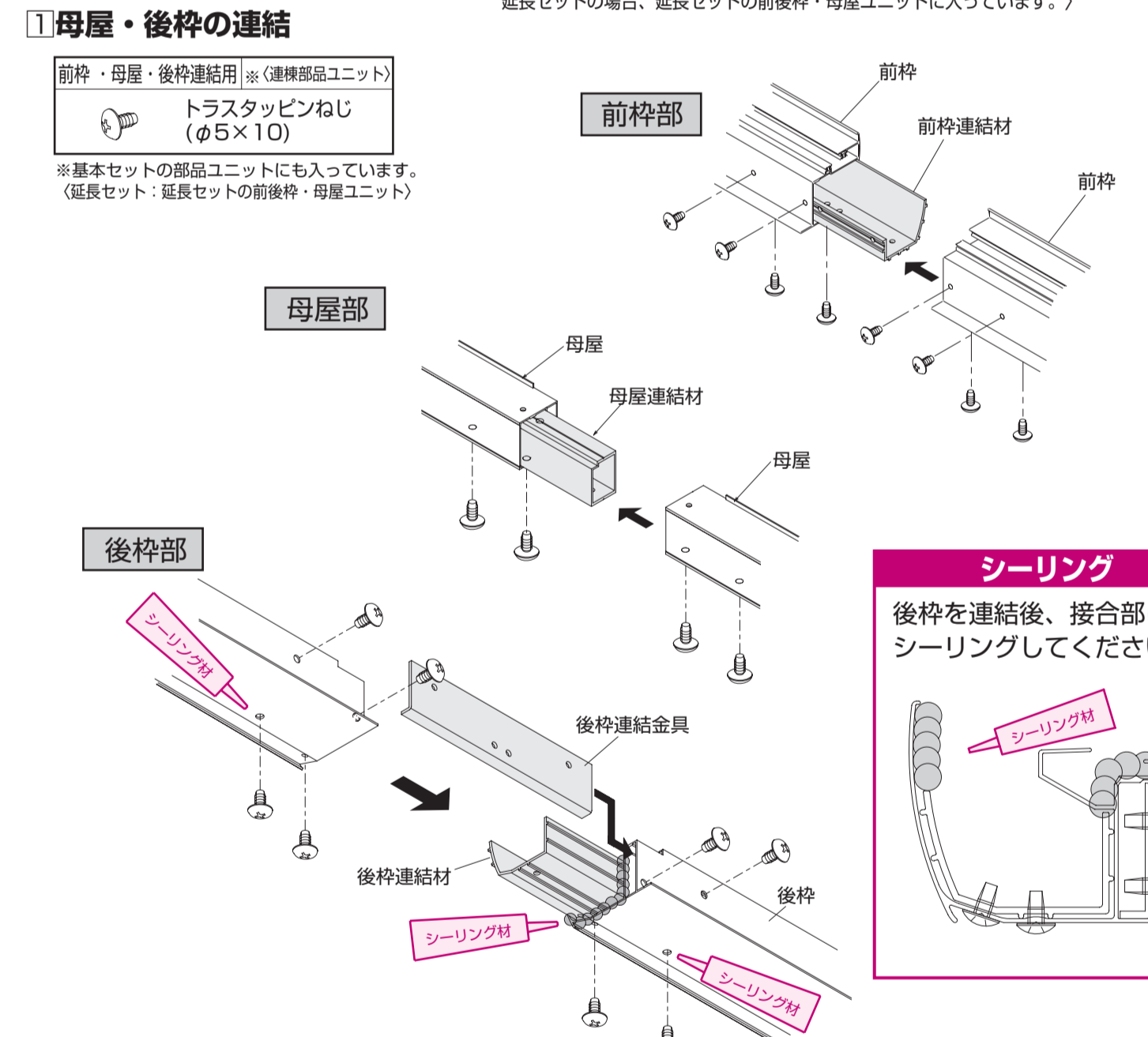
1.部材の加工

前枠・後枠・母屋の連結部に穴加工(φ6)を行ってください。

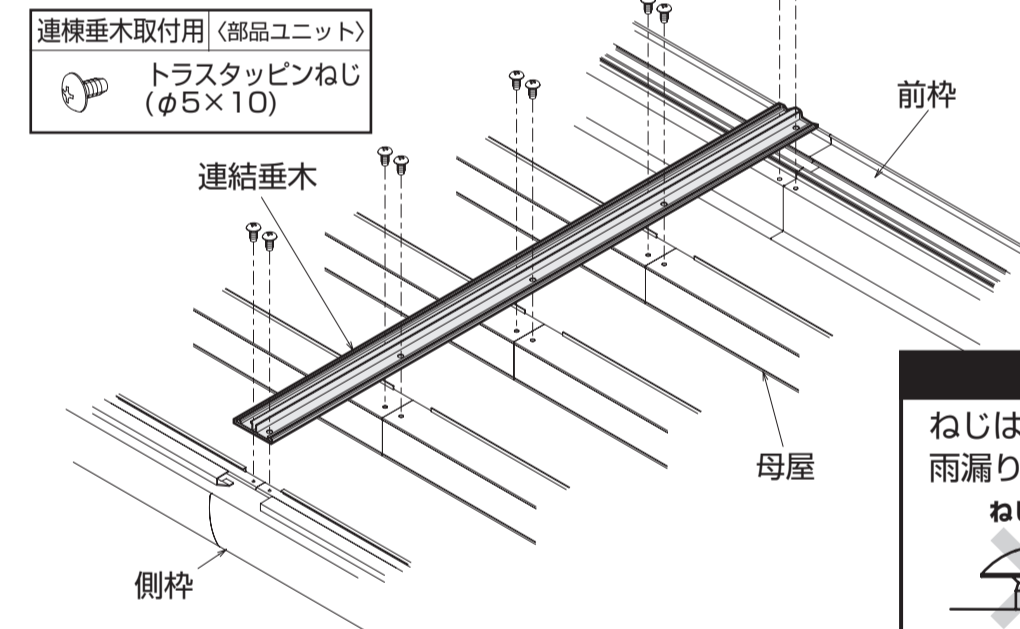
	形材断面図	加工内容
前枠		φ6 67 2-φ6 60 7 60
後枠		φ6 67 2-φ6 60 7 60
母屋		2-φ6 60 7 60

2.たて連棟する場合の組立

(部品は連棟部品ユニットに入っています。延長セットの場合、延長セットの前後枠・母屋ユニットに入っています。)



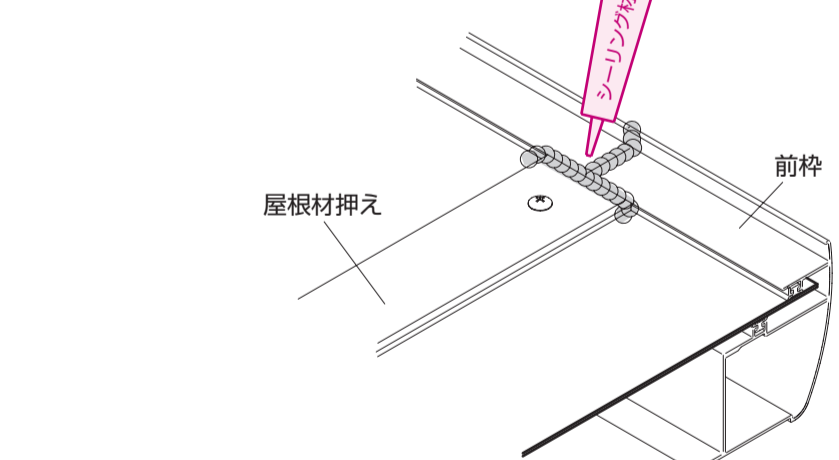
2.連棟垂木の取付



お願い

ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。

3.前枠接合部のシーリング



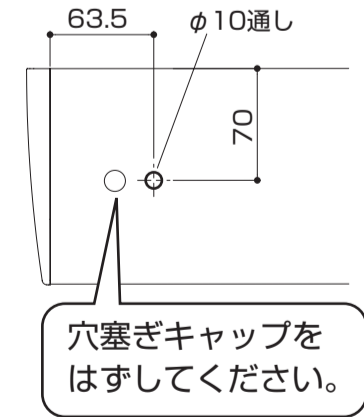
お願い

前枠と屋根材押え部は「」字型にシーリングをしてください。

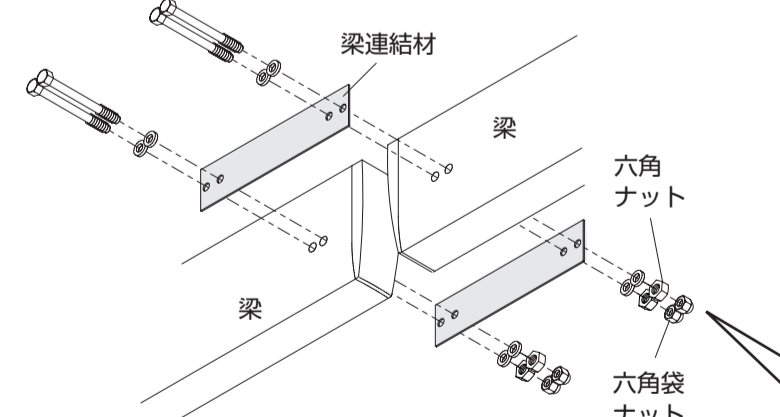
合掌する場合

(部品は全て合掌部品ユニットに入っています。)

1.梁の穴加工



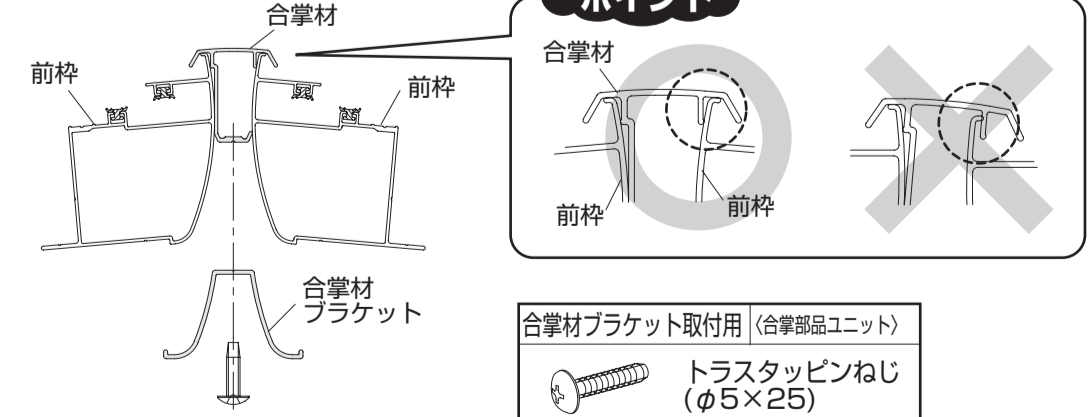
2.梁連結材の取付



ポイント

締め込みすぎに注意してください。

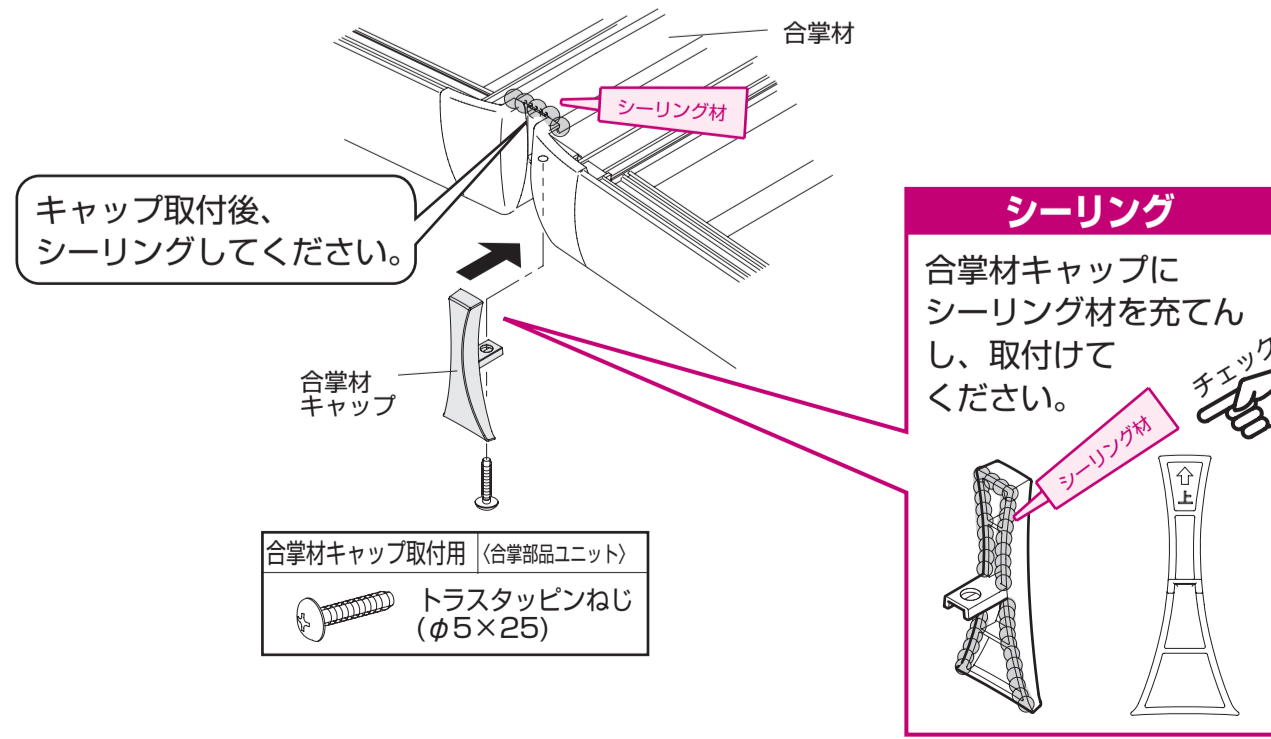
3.合掌材の取付



ポイント

合掌材ブラケットは、4ヶ所に取付けてください。

4.合掌材キャップの取付

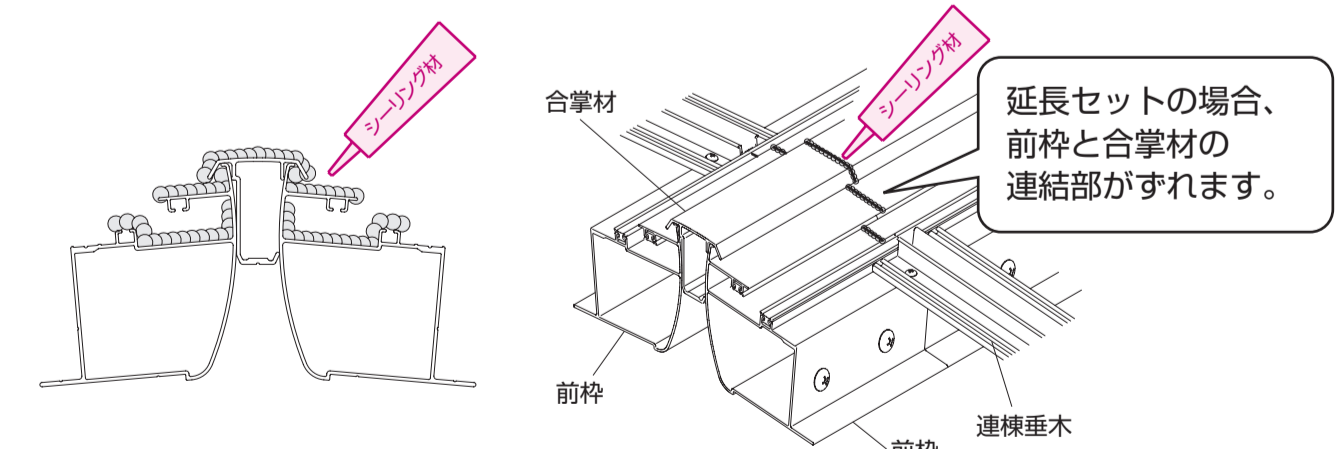


シーリング

合掌材キャップにシーリング材を充てんし、取付けてください。

合掌たて連棟する場合

1.合掌材の取付



お願い

延長セットの場合、前枠と合掌材の連結部がずれずれます。

2.合掌材キャップ・合掌材ブラケットの取付

取付詳細は、「合掌する場合」を参照してください。

ポイント

連結部には合掌材キャップは取付けません。キャップ取付穴は取付ねじ(φ5×10)で塞いでください。

